浦山川・冠岩沢

平成 23 年 7 月 17 日（日）
L 白土、釼持（記録）

二子山の下山後は薬師の湯でさっぱりし、大滝温泉の道の駅で泊まった。当初は道の駅荒川にしようとしてたが、線路の隣なのであまりよくない。

翌朝、浦山川沿いの道路を上がり、冠岩沢にそって少し林道をゆき、行き止まりに車を停め、小さな橋を渡って入渓点までの登山道を進む。５分ほどで右側に建屋が見えてきた。廃村になった小さな集落だ。電気は通っているようだけど、徒歩でしか入れない、すごいところ。いつ頃まで人が住んでいたのだろうか。

登山道は集落に向かって登っているけど、沢へはそのままま っすぐ踏み跡を進んで入渓。緑がとてもきれい。この沢には最近は人が入っていないようでクモの巣だらけなので、細い枝をぶんぶん振りながら歩く。

すぐに両側が壁で囲まれた 3mくらいの滝が登場。右の壁から登る。スタンスが細かく、緊張する。

途中、ぼろい丸太橋がかかり、上流にはわさび田跡の石組みがあり、生活の場だったことがうかがえる。今は大きなヒキガエルが住んでいるようで、半日の遡行の間に 10 匹くらい見た。

2 段 15m滝は、白土さんが右から越えたものの、ジグザグにルート取りしたため、途中の岩にロープがひっかかって流れない。仕方なく懸垂で下りて、最初からやり直し。

今度は左から。左には残置ハーケンがあった。木を目指して直上したあと、落ち口に向かってトラバース。なんてことはないのだけど、高度感があるのでどきどきする。この滝を越えるのに 90 分かかった。

小滝をはさんだ後、スダレ状 25m大滝は右から高巻き。釜のない滝なので真下まで行き、滝に打たれて遊ぶ。暑いので気持ちよい。

最後、8mの岩が赤い滝は一見登れそうなので白土さんが取り付く。が、3mくらい登っては下りて、と何度かトライしたものの、支点を取るところがなくあきらめて右から巻いた。

水がなくなってきた辺りで左岸の斜面を登り、30 分くらいで登山道のある稜線に出た。ここで装備を解き、運動靴に履き替える。夏の暑い盛りにこんな低山を歩くハイカーの姿はなく、静かな登山道を鳥首峠方面に少し歩き、南に伸びる尾根から地形図を頼りに冠岩の集落へ向かって下る。途中、送電線の鉄塔の前を通過。終始藪はなく、雪道をつぼ足で下るようにざざ～っと歩けるので稜線から 50 分ほどで車に着いた。

あえて行くほどの見どころは正直ないけど、遡行、下山とも短時間の行程なので、秩父方面に行ったついでの１本としてはいいと思う。静かな沢を楽しめる。ただし、カエルが苦手な人にはすすめられない。

7：50　林道終点出発

9：00　2段15m滝

13：30　稜線

14：20　林道終点

【2段15m】

【冠岩の廃村】